

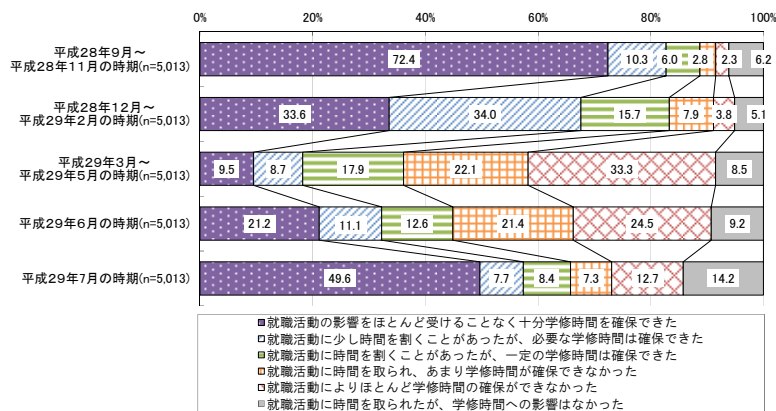
第5章 文系・理系別の集計

①文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

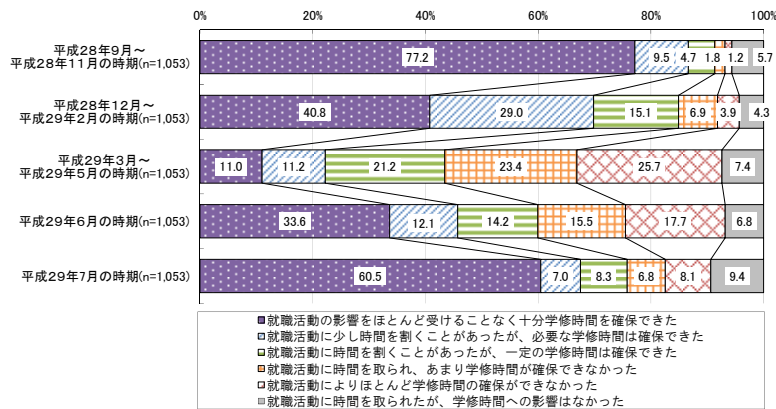
就職活動と学修時間確保の状況について、平成28年9月以降の状況を文系・理系別に集計した(図表5-1-1、図表5-1-2)。

「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生ではすべての時期、また、大学院2年生では「平成29年3月～5月」を除いたすべての時期において、理系の学生のほうが高くなっており、特に、「平成29年6月」及び「平成29年7月」において、この差は大きくなっている。

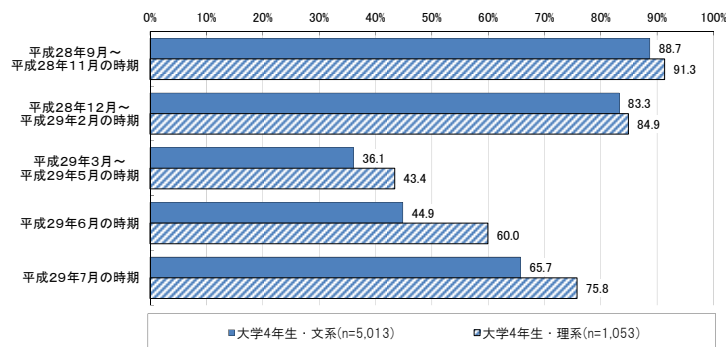
図表5-1-1 大学4年生の文系・理系別、就職活動と学修時間確保の状況 (文系)



(理系)

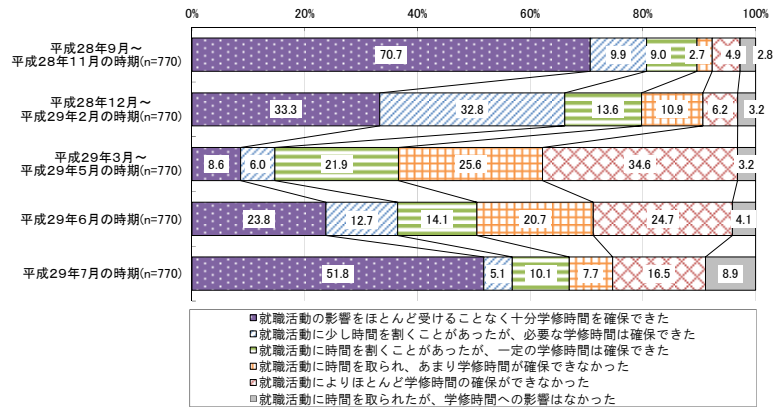


(文系・理系別比較)

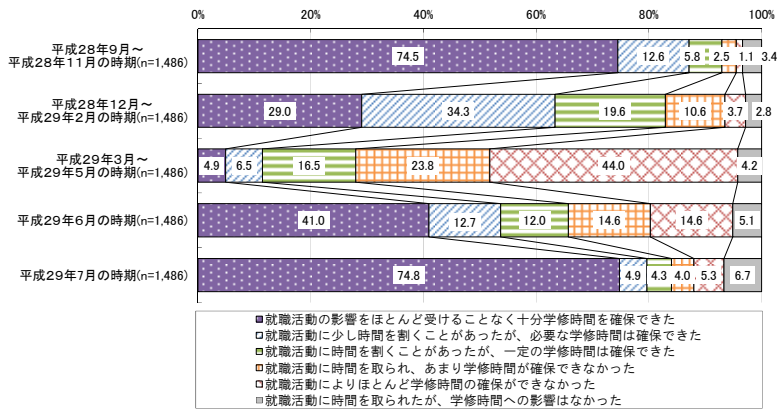


※ 「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

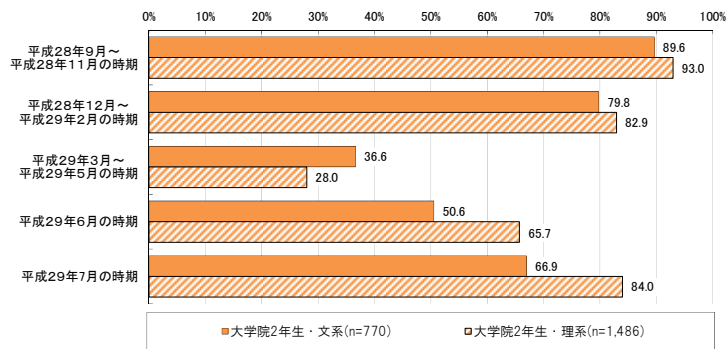
図表 5-1-2 大学院 2 年生の文系・理系別、就職活動と学修時間確保の状況
(文系)



(理系)



(文系・理系別比較)



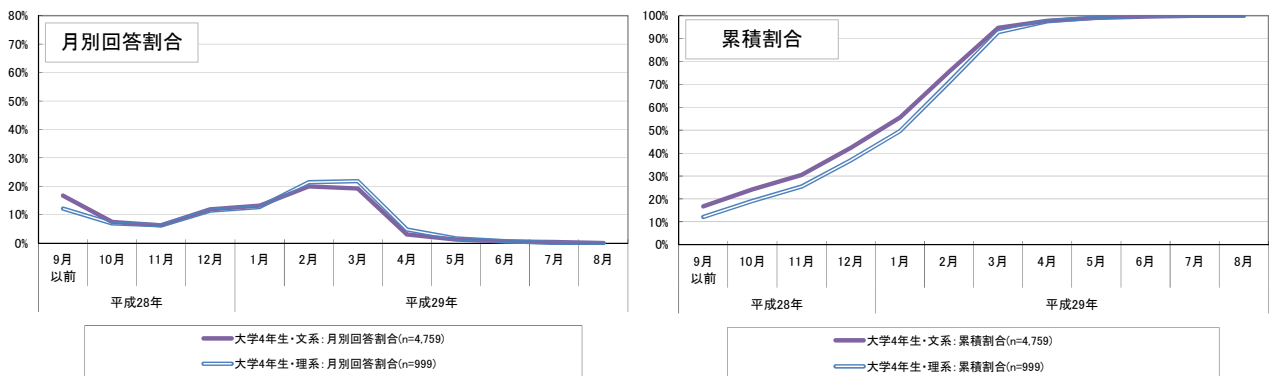
※ 「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

②文系・理系別の業界や企業に関する分析を開始した時期

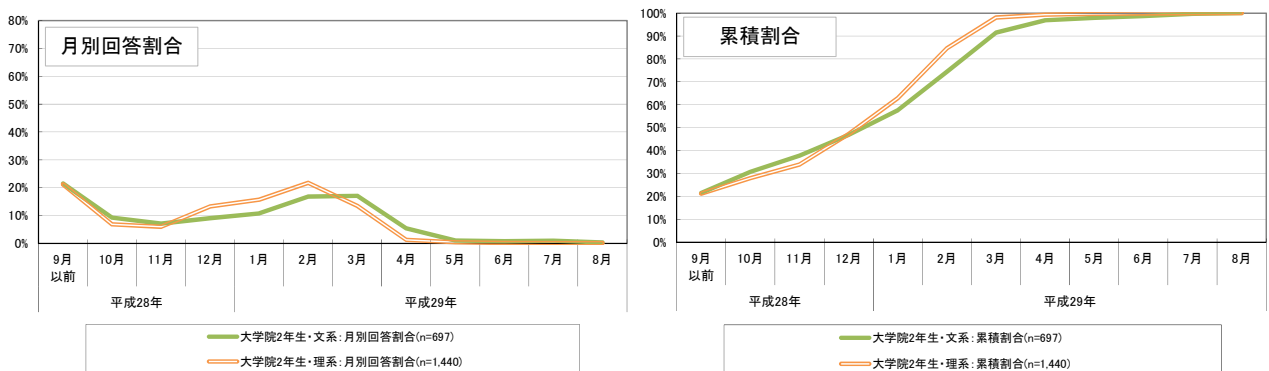
文系・理系別に、いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかをみると⁵⁰、大学4年生では、文系の学生のほうが「9月以前」の割合が高く、全体としてより早期の回答割合が高くなっている（図表 5-2-1）。

大学院2年生では、平成28年12月までに開始した割合は文系・理系で同程度となっているが、それ以降の時期は理系の学生のほうが早期の回答割合が高くなっている。

図表 5-2-1 文系・理系別、業界や企業に関する分析を開始した時期
(大学4年生)



(大学院2年生)



⁵⁰ 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、ここでは集計の対象外とした。

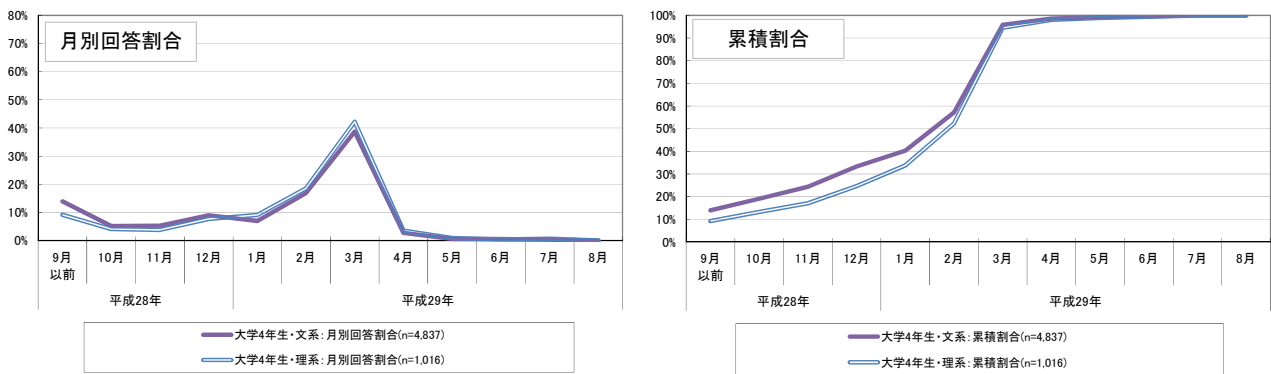
③文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した⁵¹（図表 5-3-1、図表 5-3-2）。

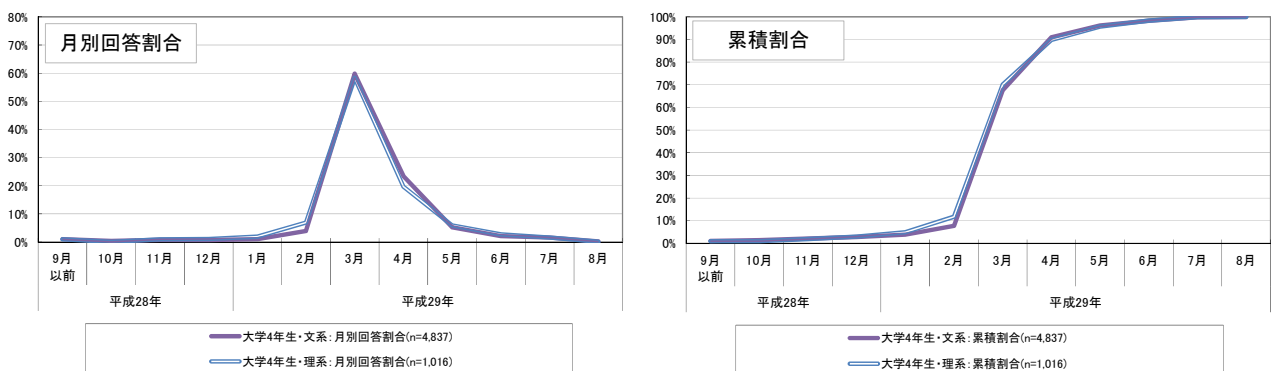
大学 4 年生では、「最初に参加した時期」は文系の学生のほうがより早期の回答割合が高いが、他方で「最後に参加した時期」については、理系の学生のほうが早期の回答割合が高くなっている。なお、大学 4 年生の企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生が 28.8 社、理系の学生が 20.6 社であった。

大学院 2 年生では、「最初に参加した時期」は 1 月まで、また、「参加のピーク」及び「最後に参加した時期」は 2 月までの時期の回答割合が文系・理系で同程度になっているが、それら以降の時期は理系の学生のほうが早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院 2 年生の企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生が 19.7 社、理系の学生が 18.9 社であった。

図表 5-3-1 大学 4 年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最初に参加した時期>

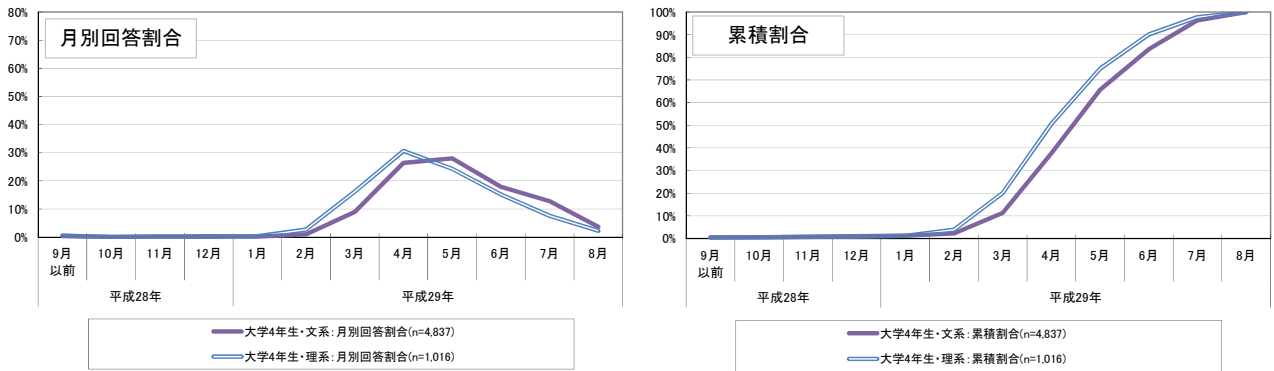


<参加のピーク>

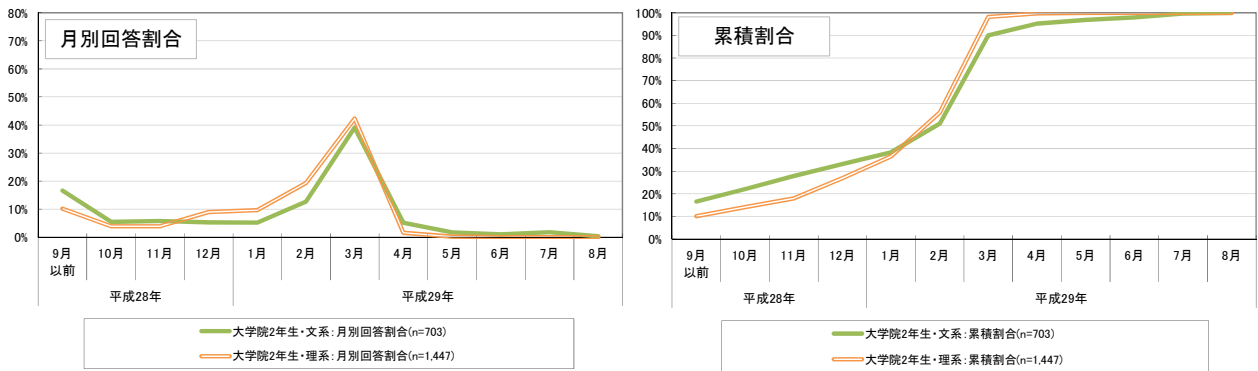


⁵¹ 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、ここでは集計の対象外とした。

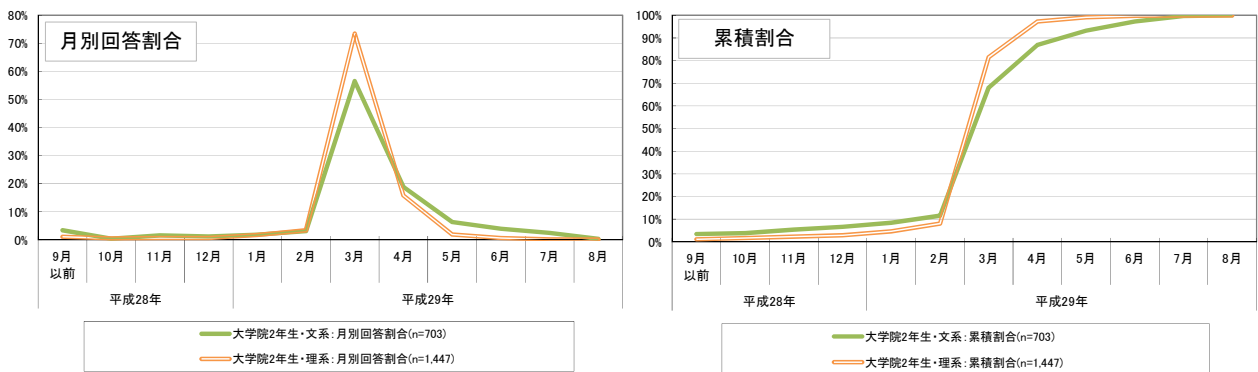
図表 5-3-1 大学4年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最後に参加した時期>



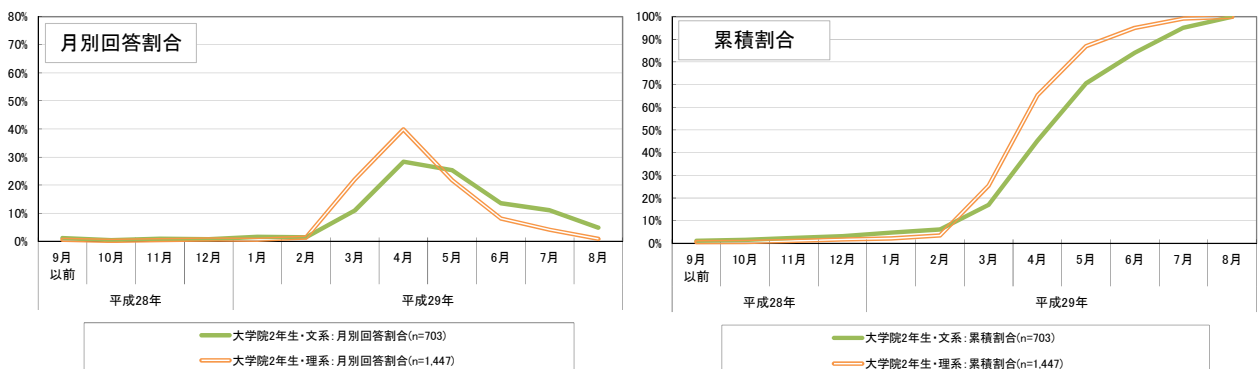
図表 5-3-2 大学院2年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最初に参加した時期>



<参加のピーク>



<最後に参加した時期>



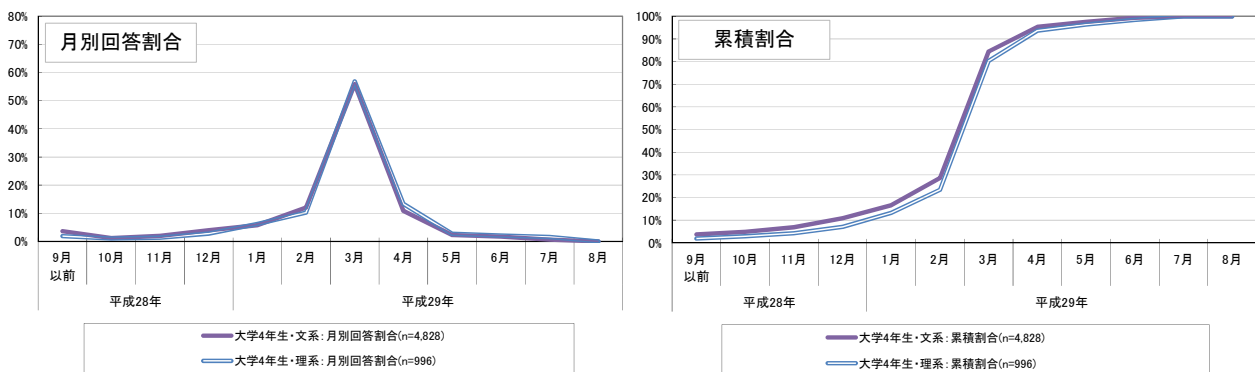
④文系・理系別のエントリーシートの提出状況

エントリーシートの提出時期について、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した（図表 5-4-1、図表 5-4-2）。

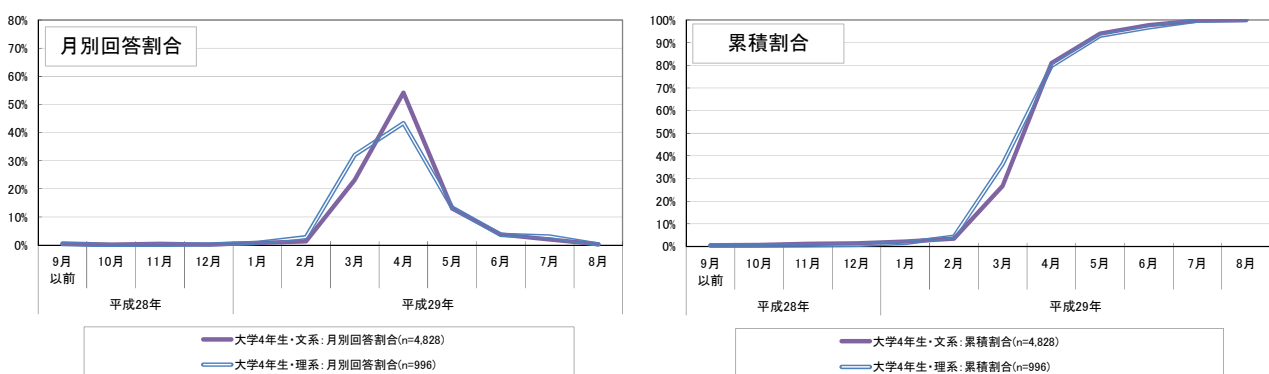
大学4年生では、「最初に提出した時期」及び「提出のピーク」は、文系・理系で概ね同様の傾向が見られるが、「最後に提出した時期」は、理系の学生のほうがより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学4年生のエントリーシート提出数の平均値は、文系の学生が18.3社、理系の学生が12.4社であった。

大学院2年生では、「最初に提出した時期」の回答割合が「3月」に最も高いことは文系・理系に共通するが、この割合は、文系の学生が5割弱であるのに対し、理系の学生は7割弱と高くなっている。また、「提出のピーク」及び「最後に提出した時期」は、全体として理系の学生のほうがより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院2年生のエントリーシート提出数の平均値は、文系の学生が14.3社、理系の学生が11.9社であった。

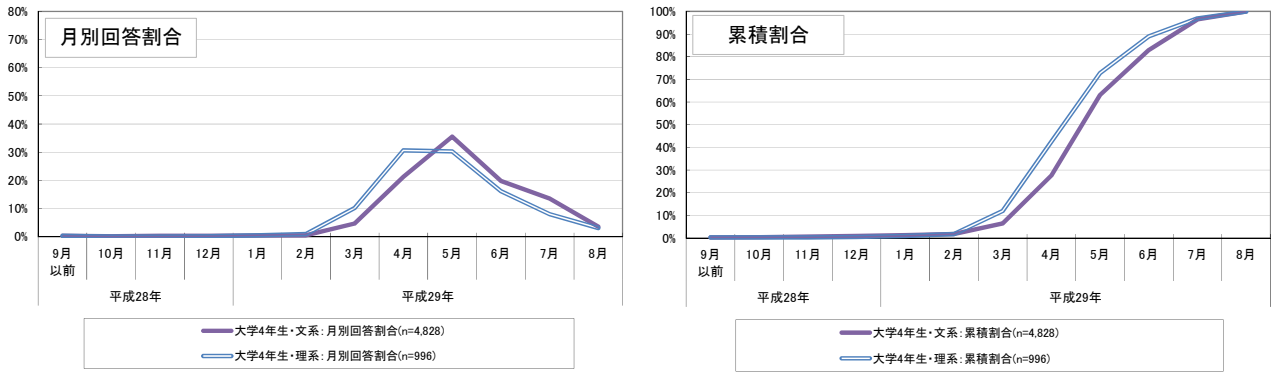
図表 5-4-1 大学4年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期
 <最初に提出した時期>



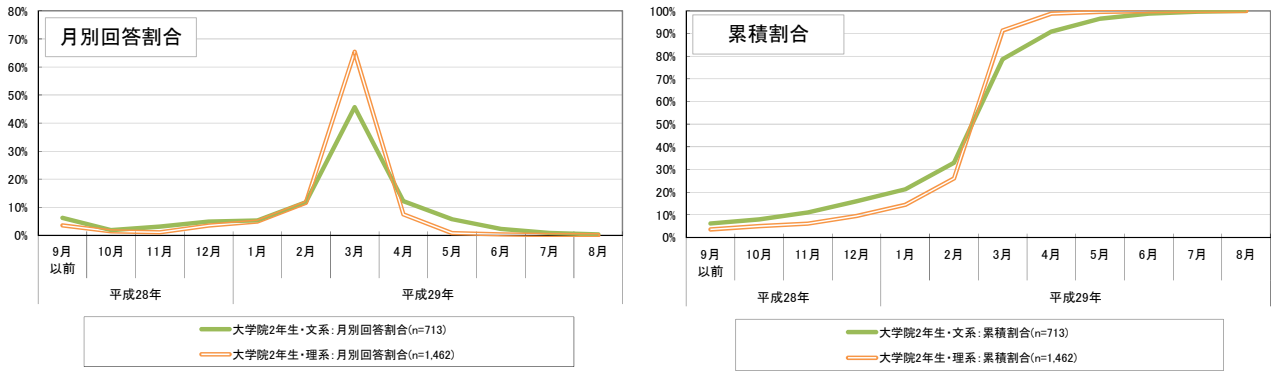
<提出のピーク>



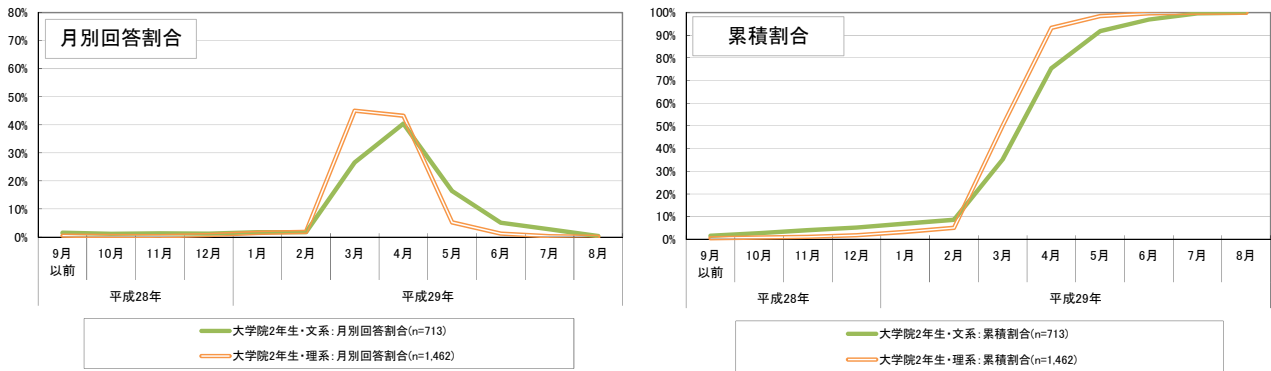
図表 5-4-1 大学4年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期
 <最後に提出した時期>



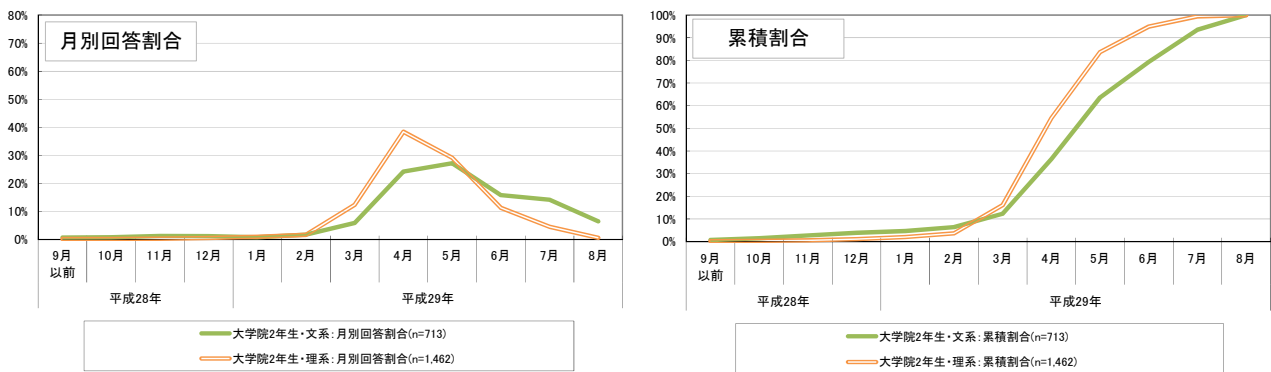
図表 5-4-2 大学院2年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期
 <最初に提出した時期>



<提出のピーク>



<最後に提出した時期>



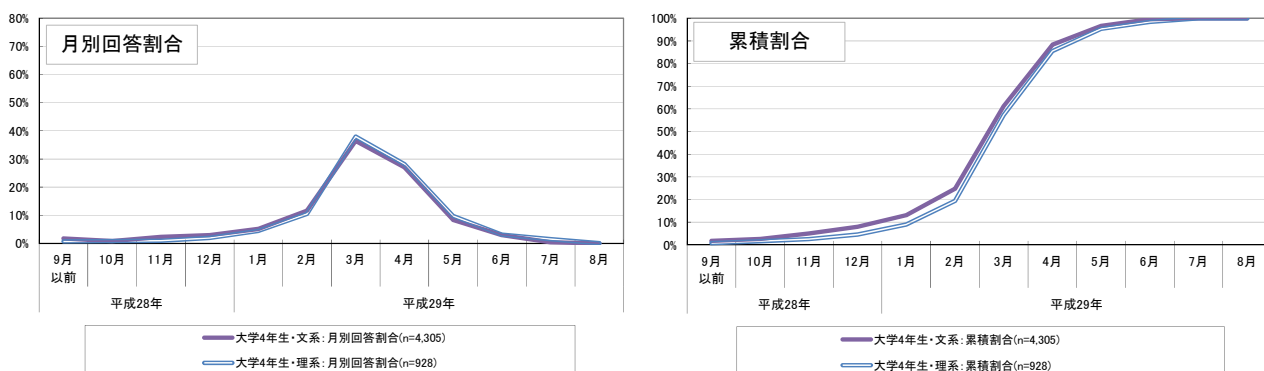
⑤文系・理系別の採用面接の実施状況

採用面接⁵²の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した⁵³（図表 5-5-1、図表 5-5-2）。

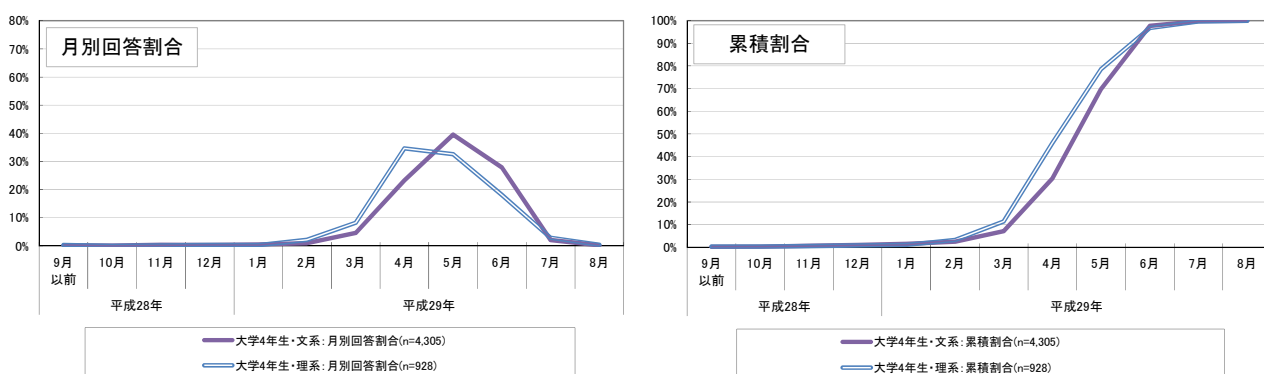
大学 4 年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系・理系で概ね同様の傾向が見られるが、「採用面接のピーク」及び「最後に受けた採用面接の時期」について、理系の学生のほうがより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学 4 年生の採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生が 12.4 社、理系の学生が 8.4 社であった。

大学院 2 年生では、「最初に受けた採用面接の時期」について、理系の学生において「3 月」の回答割合が高くなっている。「採用面接のピーク」及び「最後に受けた採用面接の時期」については、理系の学生では文系の学生に比べて「4 月」の回答割合が高く、全体としてより早期の回答割合が高くなっている。なお、大学院 2 年生の採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生が 9.0 社、理系の学生が 7.5 社であった。

図表 5-5-1 大学 4 年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最初に受けた採用面接の時期>



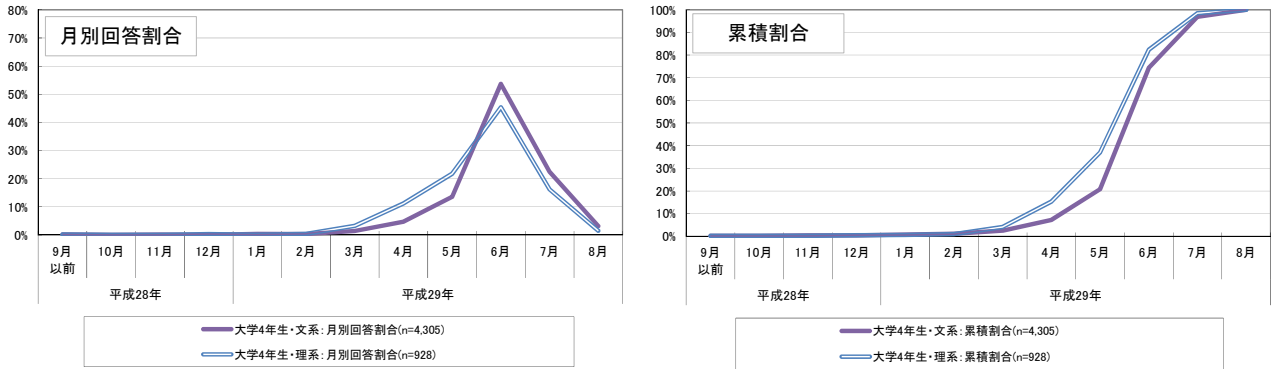
<採用面接のピーク>



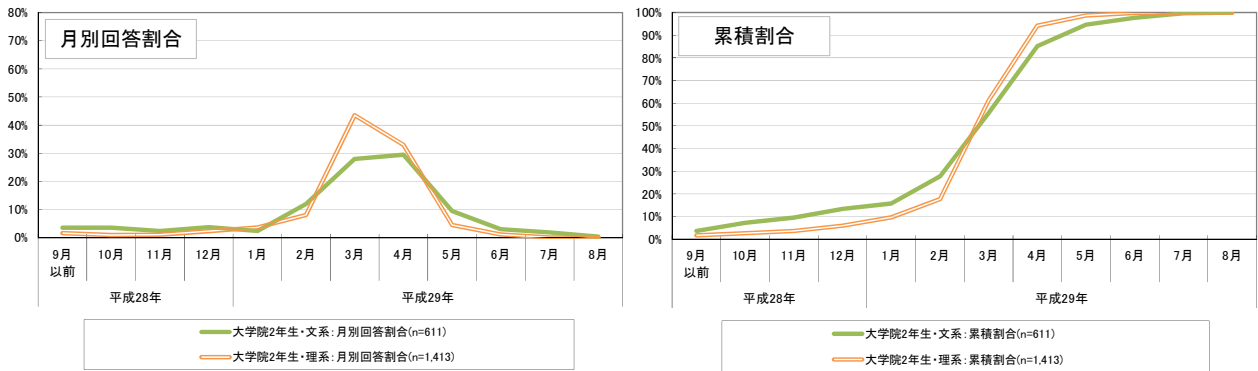
⁵² 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

⁵³ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8 月 1 日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

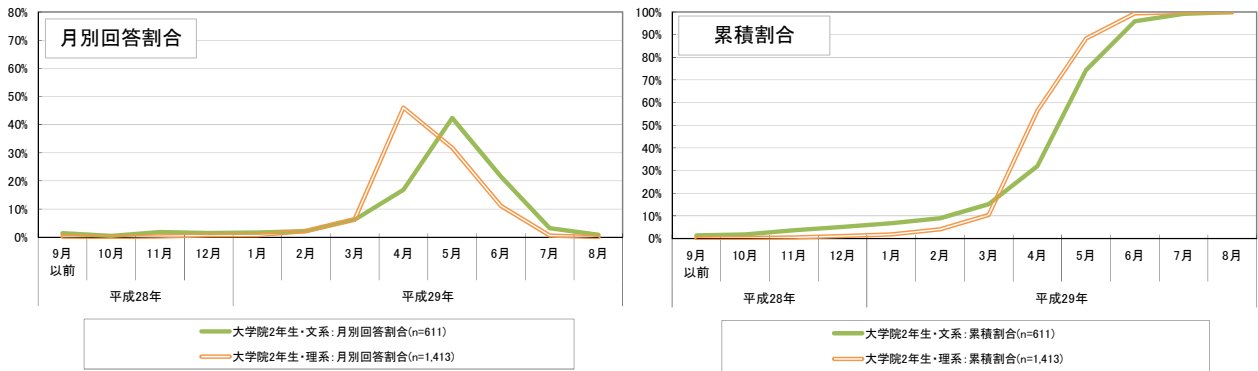
図表 5-5-1 大学4年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最後に受けた採用面接の時期>



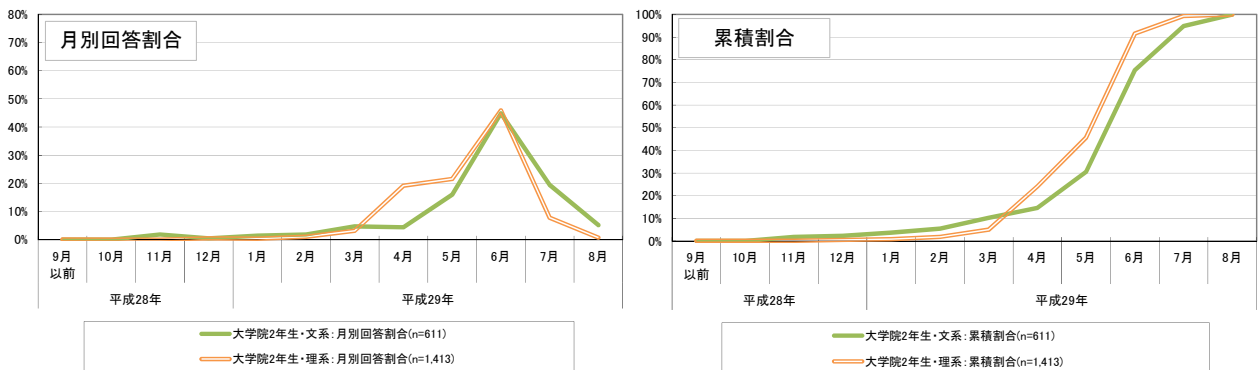
図表 5-5-2 大学院2年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最初に受けた採用面接の時期>



<採用面接のピーク>



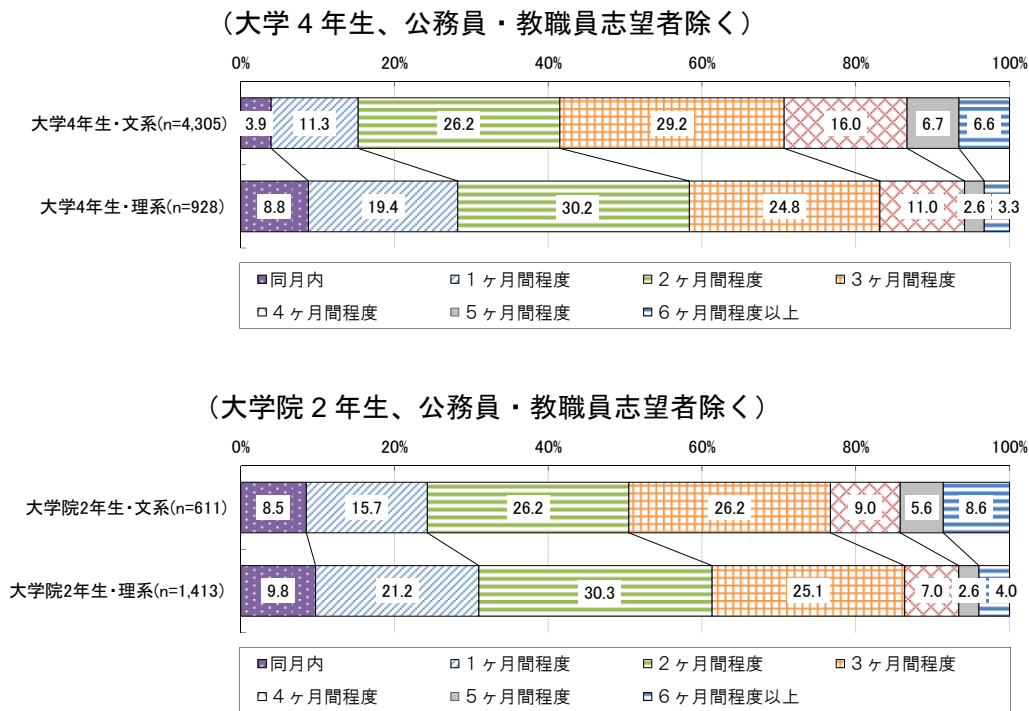
<最後に受けた採用面接の時期>



⑥文系・理系別の最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

文系・理系別に、「最初に受けた採用面接の時期」⁵⁴から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると⁵⁵、大学4年生・大学院2年生ともに、文系の学生よりも理系の学生のほうが期間が短い者の割合が高い傾向にある⁵⁶（図表 5-6-1）。

図表 5-6-1 文系・理系別の最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間



⁵⁴ 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で得られた回答である。

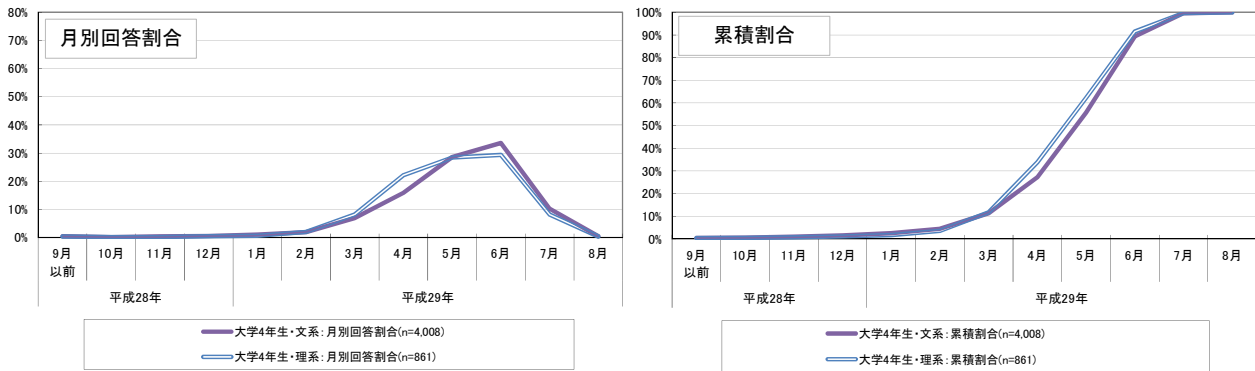
⁵⁵ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

⁵⁶ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

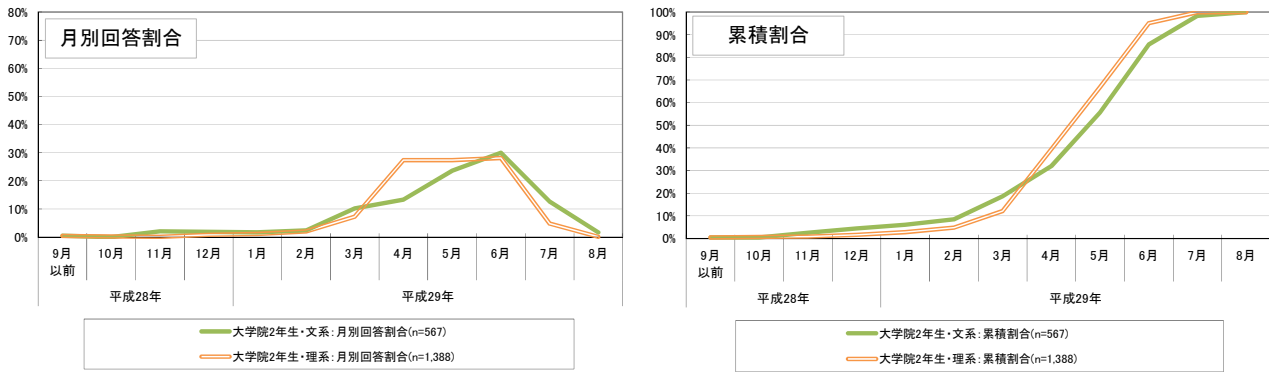
⑦文系・理系別の内々定を受けた時期

文系・理系別に、内々定を受けた時期についてみると⁵⁷、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生のほうが「4月」との回答割合が若干高くなっている（図表 5-7-1）。

図表 5-7-1 文系・理系別、内々定を受けた時期
（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

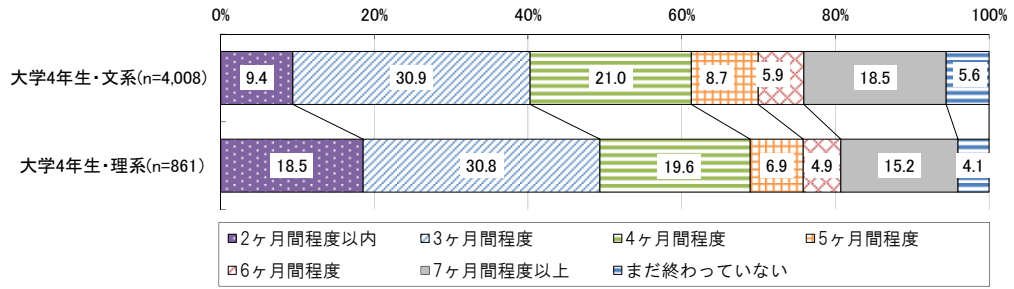


⁵⁷ 1 社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

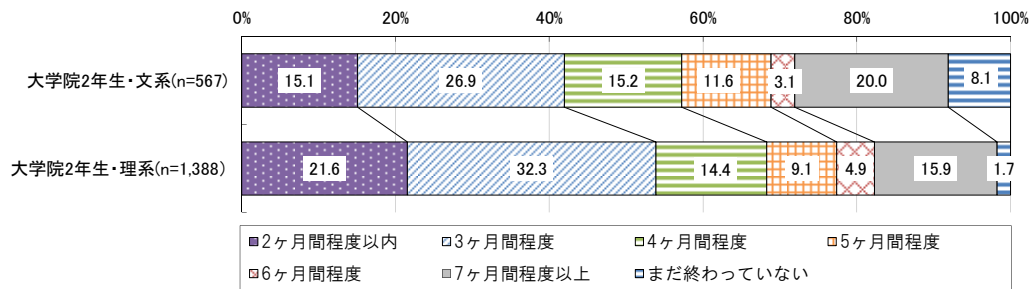
⑧文系・理系別の就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について文系・理系別に集計すると⁵⁸、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生のほうがより短い期間の割合が高い傾向にある（図表 5-8-1）。

図表 5-8-1 文系・理系別、就職活動の始まりから終わりまでの期間
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



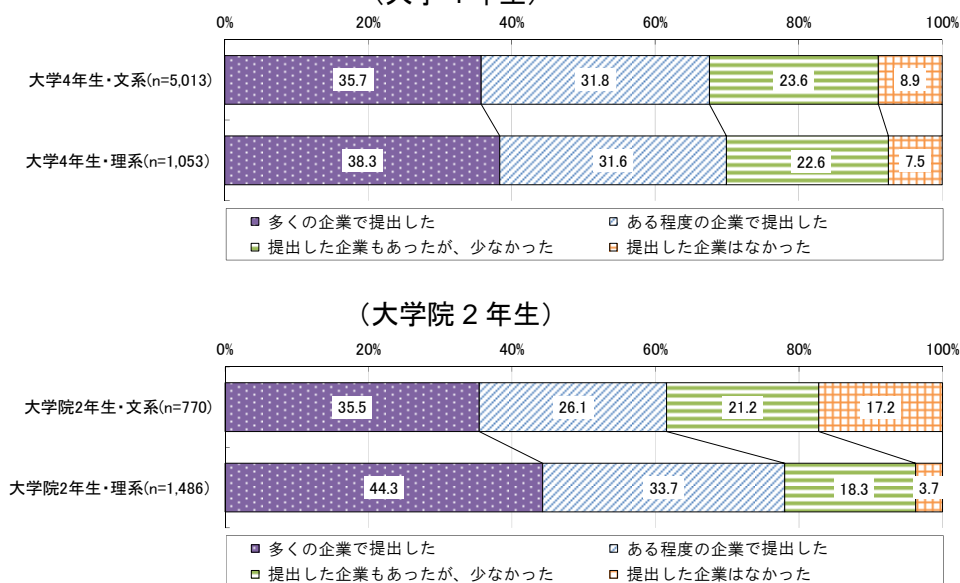
⁵⁸ 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑨文系・理系別の学業重視の選考

就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」との回答割合は、理系の学生のほうが高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている（図表 5-9-1）。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」との回答割合は、理系の学生のほうが高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている（図表 5-9-2）。

図表 5-9-1 文系・理系別、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況
(大学4年生)



図表 5-9-2 文系・理系別、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか
(大学4年生)

